

ICT 活用で教育の何が変わる？ 2 何が壁？ 公教育の ICT 機器導入 ～先進事例と意義を探る～

8月4日 火 15:00-17:00

先着100名!

オンライン (Zoom) 開催 | 参加費 5,000 円 (税込)



文部科学省によるギガスクール構想が急速に進められ、すでに議会で予算が成立し、導入が目のまえに来ている自治体が増えてきました。しかし、児童生徒に ICT 機器を用意して、教育がどのように良くなるのか分からないとの声を多く聞きます。特に公立小中学校では、対面授業こそが教育であり、学校が再開したことで ICT 機器の活用やオンライン教育への消極的な姿勢が見える例もでてきました。

そこで、ICT 教育関連の予算を審議した議会から課題提起を行うとともに、先行して公教育に ICT 機器を導入した熊本市教育委員会から現状の成果を伺い、今後の公教育での ICT 活用をどのようにしていけば、教育がより良くなるかを参加者とともに議論します。どうぞ、ご参加ください。

問題提起

導入までに質疑しておくポイントはここ

すでに導入を決めた議会から論点と課題を報告します

東京都小金井市議会議員 白井 亨

東京都渋谷区議会議員 治田 学

東京都豊島区議会議員 古堺 稔人

事例報告

全小中学生に ICT 機器導入 熊本市の手法と成果、今後

新型コロナウイルス対応の一斉休校では全小中学校で遠隔授業を行ったのが熊本市です。実例から公共教育での ICT 機器整備の意義、課題。成果について報告します。

熊本市教育センター 教育情報室長 本田 裕紀

講演

“新しい葡萄酒は古い革袋に入れてはならぬ”

なぜ教育への ICT 機器導入が必要なのか？ 理念と実例

国際大グローバル・コミュニケーション・センター 准教授 豊福 晋平

ICT 機器活用で教育をどのように良くしていくのか、オンライン教育の必要性も含めて理念と活用のポイント、議会審議で論点についての見解を伺います。



参加方法

Peatix よりお申込み、参加費 (¥5,000) をお支払いください

QR コードを読み取るか、(<https://lmonline20200804.peatix.com/>) にアクセス

お問合せ

早稲田大学マニフェスト研究所

TEL : 03-6214-1315 E-Mail: mani@maniken.jp (担当 : 亀井・山内)

主催 ローカル・マニフェスト推進連盟 共催 マニフェスト大賞実行委員会 早稲田大学マニフェスト研究所

日本最大の政策コンテスト マニフェスト大賞 2020 応募受付中!



Manifesto Awards

<http://manifestoawards.com/>

マニフェスト大賞 検索